

令和5年4月3日

第24回 長崎国際大学入学式 (465名)

“入学の度(たび)、生涯の友を得し”

満開の桜が散り急ぐように大地に満ちています。本日第24回の入学式、コロナ禍も下火になったとは言え、はっきりとマスクを外すところまではいたっておりません。ご来賓への案内も自粛させて頂きました。

さて、ただ今、安東学長先生より入学許可されました465名の皆さん、おめでとうございます。

本学を経営します学校法人九州文化学園は、昭和20年第二次世界大戦が終わった年に設立されました。今年で78年を迎えます。現在、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、2つの専門学校、短期大学、大学を併設いたします総合学園です。

大学は平成12年佐世保市・長崎県・地元企業の支援を受けて誕生した長崎県では初めての公私協力型の大学であります。そのよって立つ建学の理念は「いつも人からそして心から」というホスピタリティの心であり、具体的実践として茶道文化が必修となっています。

2019年12月に発生しました新型コロナウイルスは瞬く間に世界中に広がりました。本学も昨年は催しもの中止や縮小、講義もオンラインで行いました。一方、本学では全国でもいち早くPCR検査を大学独自で実施し、各学生と教職員は徹底した健康チェックを義務付け、更に4000人の職域接種を九州では一番に行い、又、大学内に利休庵診療所を開設、学長ご夫妻が診療にあたられています。こうした学生に対します安心・安全の対応は他大学にない充実したものであります。どうぞ保護者の皆様も安心されて下さい。本年度はほとんどが正常の中で、大学生活がスムーズに運ぶのではないかと考えています。

しかし現在もまだ、コロナは勿論、ロシアのウクライナ侵攻、2月6日のトルコ・シリアの大地震、地球の温暖化、身近では諸物価の高騰など、予期しないことが私たちの回りには多くありますが、そうした難題を乗り越えてみせる課題解決能力、又未来への創造力を大学生活の中で身に付けて下さい。

本日のご入学、本当におめでとうございます。

学校法人九州文化学園

理事長 安部 直樹